

『みんなのスポーツ』1・2月合併号 (No.500) から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の1・2月合併号は「第64回全国スポーツ推進委員研究協議会」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を3点記載します。



- (1) 新年のご挨拶；全国連合会長 阿部雅志さん チームがひとつになるには相互理解を深め、信頼関係を築くことが大切だと考えておられる。全く同感で、それぞれの方のすぐれた能力や技術他を発揮していただき活動を行っている。阿部さんが書かれているように日頃の地道な努力がないと信頼関係を構築・維持はできないという考え方理解はでき実行をしている。コロナ禍はあけ活動が多くなってきたのを機にもう一度努力していきたいと考えて行動をしています。
- (2) Specia Interview 福士加代子さん ワコール女子陸上競技部アドバイザー；テレビなどの場面では何度も見ているが、昨年の青森での全国スポーツ推進委員研究協議会で講演を聞いて福士さんが今まで以上に好きになった。理由は「とにかく明るくなれる」点である。また、本冊子に書かれている子どもたちの運動の機会が失われていることについて、「子供達には何でもいいから経験して欲しい」と話をされている点には賛同です。私自身は子供たちにスポーツの指導は行っていないが、こどもエコクラブ活動を通して「自然観察会」行っている。参加した子供たちが、大人にはない視点で感じた事・気づいたことをその場で話してくれるため私自身が学ぶことも多い。また、地域（小学校区）でR5年度に小学生を対象に、アンケートを取り子供たちが希望するイベントとして夏休みに続いて1月中旬にドッジボール大会を連合町内会・保護者・体育振興会他で行う。子どもたちの笑顔が見られるため楽しみにしている。子供達には、ドッジボールを通してスポーツやレクの大切さ・楽しさ・仲間との関係他に気づいて欲しいと考えています。
- (3) スポーツをひらく 広島県廿日市 共生社会を見据えた「みんなのスポーツ体験会」；記事を読んで、誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で、明るく豊かな生活が送れる生涯スポーツ社会の実現に取り組んでおられるとの事、「体験会」を通しての取り組み方は参考になると感じました。
- 体験会は、時間帯を平日の午後、曜日は火曜日、水曜日、木曜とし、毎月違う曜日にすることで参加しやすい環境作りにも工夫されたとの事。種目もフライングディスク、玉入れ、カローリング、ビーンボーリング、グラウンド・ゴルフの5種目。参加者が帰り際に残してくれた、「次はいつあるの?」「また来たい」の言葉に表れている通り、日々の生活の1ページにできたとの事。この体験会を機会にいろいろ工夫され今後も取り組まれているようすがとても心地よく読ませていただきました。
- 今月号では3つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて（行動）みませんか？

***本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがあるように私は思います。**年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合とこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上